

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター

福山市沼隈町草深

1889 番地 6 (沼隈支所3階)

TEL 980-7713

FAX 987-2382



E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだかわ」で検索!

ピンチをチャンスに変える地域づくり講座

■ 獣害対策コース

イノシシなどの獣害でお困りの地域の方必見!
先進技術や成功事例に学ぶ体験型の講座です。

第1回 11月16日(土)

講師の小林 努さん(福山市農林水産課主事)と熊野学区の電気柵をしている田とイノシシに荒らされた畑を見ながら対策の仕方やコツを学びました。

第2回 11月30日(土)

講師の佐藤 平治さん(能登原学区まちづくり推進委員会委員長)から能登原学区の被害状況や鉄柵などの設置状況についてのお話を聞きました。

★次回第3回は、イノシシ対策の研究者として有名な江口さんの講演会です!
1回目、2回目と参加できなかった方もぜひともご参加下さい!!12月11日(水) 19:30~
会場 沼隈支所4階大会議室「生態から考える獣害対策」
専門家に学ぶ動物学江口 祐輔 さん
近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム主任研究員

■ 団体力UP コース

助成金・補助金や、自力で財源を確保した実践事例です。
まち推、自治会、各団体の方などにおススメの講座です。12月5日(木) 19:30~
人権交流センター「自主財源の作り方」
~焼きそばでつなぐ学区の絆~橋爪 隆昌 さん
常石学区まちづくり推進委員会事務局長12月19日(木) 19:30~
人権交流センターNPOから学ぶ
色々な「補助金・助成金」活用術客本 牧子 さん
NPOほんわか代表理事1月16日(木) 19:30~
人権交流センター

「地域の強みを活かすアイデア考」

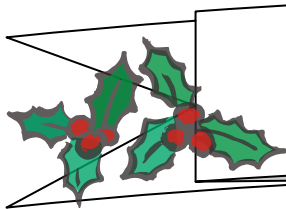
三宅 予枝子 さん
南部生涯学習センター職員

★3回連続の講座です。

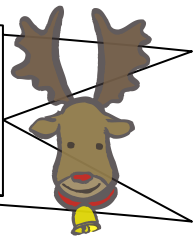
定員 各コース20人(要申込) ※ 受講無料です。駐車場あります。

主催・問合せ・申込み 南部生涯学習センター (TEL084-980-7713)

しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくたい みと
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。



南部こんなんやるday



津之郷公民館 TEL: 951-1002

気象災害から身を守るために

とき 12月7日(土) 13:30~15:00

ところ 津之郷公民館 2階会議室

講師 大平 眞二さん

(NHK 広島放送局 元お天気キャスター)

熊谷 智代さん

(福山在住 気象予報士)

内容 最近の猛暑、竜巻、局地的な豪雨、大型化する台風など、私たちの予想を超えた力をもつ天気。気象災害から身を守るために必要なこととは。



瀬戸コミュニティセンター TEL: 951-1809

山手コミュニティセンター TEL: 951-5679

ハートフルメッセージ2013

~いのち・ぬくもり・つながり~コンサート

とき 12月21日(土) 13:30~15:00

ところ 瀬戸コミュニティセンター 体育館

出演 瀬戸小学校 フレンズ合唱団

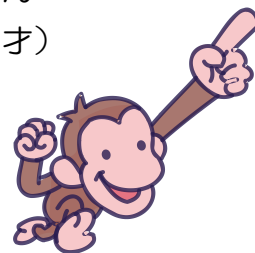
猿まわし師「猿舞座」

代表 村崎 修二さん

若頭 村崎 耕平さん

サル 夏水くん(9才)

★手話通訳あります。



●済美校区人権問題講演会

○手話通訳あります。



いのうえ やすこ

講師 井上 泰子さん(大阪府箕面市職員)

井上さん自身が、被差別部落出身男性と出会い、交際、結婚に至るまでの過程で体験した結婚差別の実情とは…。両親に会いたい気持ちが募るなか、「いつか笑って会える日を」待ち続けて…。

きっと笑って会える日を ~結婚差別の体験から~

とき 12月4日(水) 19時30分~21時

ところ 瀬戸コミュニティセンター

●城西校区人権学習講座

○手話通訳・託児あります。

出会いがつかないでくれた命 ~後向きの人生が、いつの日か前向きに~

とき 12月6日(金) 19時30分~21時

ところ 山手コミュニティセンター



かとう

講師 加藤 りつこさん(阪神・淡路大震災命の語り部/広島と福島を結ぶ会代表)

人・まち・ふくしフェスタ2013@うつみ・ぬまくま

11月24日(日)に沼隈支所、沼隈サンパル、沼隈福祉協会で、「人・まち・ふくしフェスタ2013@うつみ・ぬまくま」が開催されました。

ゆめな保育園の太鼓演奏から始まり、弥勒の里国際文化学院の研修生によるスピーチや、各学区のおらがまちの自慢話など異文化交流の場になりました。ステージの最後は、広島市中途失調・難聴者協会文化部和太鼓天手鼓舞さんの力強い演奏で盛り上がりました。



山本瀧之助 生誕140周年 記念行事

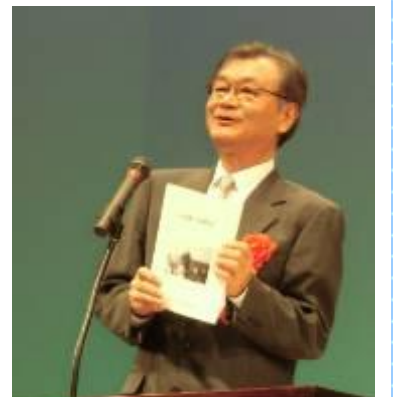
11月24日(日)13時30分から、沼隈サンパルホールで山本瀧之助生誕140周年記念行事を行いました。

常石小学校児童トランペット鼓隊による演奏と合唱と学習発表で始まりました。

久田邦明さん(神奈川大学・東京学芸大学講師)に「山本瀧之助の青年団活動における人づくりと社会貢献」をテーマに、瀧之助の活動と現在の青年団について、自身の経験を交えながらお話していただきました。話を聞いて、青年団のような存在がただあれば良い、という訳では無く、その地域に必要とされる団体として活動していくこと必要だと思いました。

千年小学校の6年生が劇「青年の父 山本瀧之助に学ぶ」を上演しました。瀧之助の活動を実際に見に過去へ行くというストーリーで、上演後、瀧之助の座右の銘を詩吟にのせて歌ってくれました。

最後に座談会を行いました。発表者の小林佑輔さん(服部本郷青壮年団団長)、佐藤平治さん(能登原学区まちづくり推進委員会委員長)、小川伸夫さん(中国新聞備後本社代表補佐兼論説委員)と助言者の久田邦明さん(神奈川大学・東京学芸大学講師)、司会進行の上田靖士さん(山本瀧之助に学ぶ会実行委員会事務局長)の5名でそれぞれ思いを語っていただきました。



講師の久田邦明さん



常石小学校の演奏



千年小学校の劇

子どもサポーター養成コース

11月8日(金) 19:30~ 講師 井上 ^{めぐみ}女日美さん(少年育成官)

井上さんは、2013年9月にエフピコRIM地下2階に開設された『少年サポートセンターふくやま』で、少年育成官として働いています。少年サポートセンターふくやまは、広島県内で初めて警察署の外で、警察と地域、関係機関などが連携し、子どもたちの健全育成に取り組む施設です。少年育成官とは、少年の立ち直りを専門とした警察職員で、逮捕等の権限はなく、少年や保護者・学校からの相談や支援を行っています。



井上さんが少年とかかわる際に工夫していることは4つあり、

①相談等を受けても不利にならないことを伝える②将来に目を向けさせる③保護者を支える④わかる言葉で伝える(興味を持っていることを例に使う)だそうです。講演の最後にわたしたちにできることは、「地域の子どもたちへの声かけをすること」「声かけの際は子どもの名前を呼んであげること」だとおっしゃっていました。

11月22日(金) 19:30~

講師 岡崎 和子さん(特別支援教育士/教育委員会指導課学校指導員)

岡崎さんは、特別支援教育士、教育委員会指導課学校指導員として働かれています。学校現場では子どもたちの「座る力」が崩れてきている、何度言っても伝わらない、友達づきあいのトラブル、落ち着かない、弱い「我慢する力」といった悩みが挙げられています。



その背景として就学前の環境や発達障害など様々な原因がありますが、子どもが困っていることを見極めて、その子どもに必要な支援をすることが大切だとおっしゃっていました。

11月29日(金) 19:30~ 講師 岡本 広土さん(南部生涯学習センター職員)

岡本さんは南部生涯学習センター職員として働いています。岡本さん自身が親・地域の住人として学校・地域とかかわるうちに世代・立場をこえた交流や地域に根ざした活動、将来に夢がもてる活動が必要だと感じたそうです。

そこで、JOOC(城西校区おっちゃんとおばちゃんの会)を立ち上げ、習い事や子どもたちが独学でやっていたダンスなどの発表の場として2008年から「青春フェスティバル」を取り組んでいます。

「青春フェスティバル」を通して、運営に携わる地域の力のすごさや、いろいろな子どもたちの素晴らしさを発見できたそうです。



この講座全体を通して地域・学校・保護者がそれぞれ出来ることを見つけ、連携を深めていくことの大切さを感じました。